

## 中学歴史 縄文・弥生・古墳時代

### 要点チェック (レベル1) 縄文時代と弥生時代のちがい

同じ番号には同じ言葉が入ります。

(1 ) の人々はおもに狩りや漁、木の実の採集を行い、食料を得やすい場所に集団で暮らし  
ました。(2 ) には (3 ) が広まり、人々は水田近くにむらをつくりました。

#### 暮らし方の違い

縄文時代：海に近い集落では、食べ終わったあとの貝殻、魚や動物の骨などを捨てた (4 ) ができた。

弥生時代：人々は強力して (3 ) を行い、やがてむらの人々を従える有力者が現れた。収穫した稲  
は (5 ) にたくわえた。

#### 道具の違い

縄文時代には厚手の (6 )、弥生時代には薄手の (7 ) がつくられました。また、弥  
生時代には稲作とともに大陸から伝わった (8 ) や (9 ) が使われました。

(6 )：表面に縄目の文様がつけられているものが多い。

(10 )：土製の人形。魔よけなどに使われた。

(7 )：6 よりかたい。飾りが少ない。

(8 ) と (9 )：主に祭りのための宝物として用いられた。

鉄器、弥生土器、弥生時代、縄文土器、縄文時代、青銅器、稲作 (いなさく)、貝塚 (かいづか)、  
高床倉庫 (たかゆかそうこ)、土偶 (どぐう)、

#### 確認問題

- ① 縄文時代や弥生時代の人々は、掘り下げた地面に柱を立てて屋根をかけた何と言う住居に住んでいたか。
- ② 縄文時代、海に近い集落のあたりに、食べ終わったあとの貝殻、魚や動物の骨などを捨てた場所を何と言うか。
- ③ 弥生時代、大陸から伝わった金属器は、鉄器とあともう一つは何か。
- ④ 弥生時代、収穫した稲は、住まいの近くにねずみや湿気を防ぐため、何に蓄えたか。
- ⑤ 弥生時代、祭りのために使われたこの道具を何と言うか。



要点チェック (レベル1) 邪馬台国からヤマト政権

同じ番号には同じ言葉が入ります。

紀元前1世紀ごろ(弥生時代)日本には100余りの小さな国々がありました。3世紀になり、邪馬台国の女王(1 )が30ほどの国々をまとめました。その後、奈良盆地を中心とする地域に(2 )が現れ、大きな(3 )が作られるようになりました。

国々の発展

- ① 紀元前1世紀ごろ、小国が分立。奴国の王が漢の皇帝から(4 )をもらう
- ② 3世紀前半、(5 )の女王卑弥呼が、中国から「親魏倭王」の称号と金印などをもらう
- ③ 3世紀後半、(2 )が登場し、その指導者を(6 )という。  
5世紀後半には九州地方から東北地方南部の(7 )を従えた。

古墳の出現

王や(7)の墓として、(8 )などの大きな古墳がつくられました。古墳の上や周りには(9 )が並べられました。

金印、古墳、ヤマト政権、大王(おおきみ)、埴輪(はにわ)、卑弥呼(ひみこ)、豪族(ごうぞく)、前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)、邪馬台国(やまたいこく)、

確認問題

- ① 3世紀前半、30ほどの国々をまとめ、まじないによる政治を行った邪馬台国の女王はだれか。
- ② 3世紀後半、奈良盆地を中心に表れた強力な勢力を何と言うか。
- ③ ②の王を何と言うか。
- ④ 王や豪族の墓として作られた古墳のうち、四角い形と丸い形をあわせたものを何と言うか。
- ⑤ 1世紀半ば、倭の奴国の王は、中国の何という国から金印をもらったか。
- ⑥ 239年、卑弥呼が金印や銅鏡100枚などをもらったのは、中国の何と言う国か。
- ⑦ 古墳の表面には石がしきつめられ、上や周りに置かれた土製の焼き物を何と言うか。

要点チェック (レベル2)

1, 旧石器時代(1万2000年前まで)

- ・大陸と陸続きだったので、ナウマンゾウやオオツノジカなどを追って、人々が移住。  
群馬県の(1 )に打製石器などが見つかる。

2, 縄文時代(1万2000年前～紀元前6世紀ごろ)

- ・海面が上昇し、日本列島ができ、温暖化で大型の動物が絶滅。
- ・人々は狩りや採集をし、磨製石器を使い、縄目の文様がついた(2 )を使用。
- ・住居は(3 )を建て、食べたあとの貝殻や骨を(4 )に捨てる。
- ・土製の人形の(5 )を魔よけなどの目的でつくる。  
植物の栽培も行っていた。代表的な遺跡は青森県に(6 )。

3, 弥生時代(紀元前6世紀ごろ～紀元3世紀前半)

- ・(7 )が九州北部から徐々に東日本に伝わる。稲穂をつみとるのに(8 )を使い、(9 )に湿気を防ぐために保存した。平地に定住するようになり、指導者が現れる。
- ・赤っぽく薄くてかたい(10 )を使用し、武器や農具などに大陸から伝わった(11 )を使い、祭のための宝物として(12 )を使用した。  
代表的な遺跡は佐賀県の(13 )がある。

4, 国の出現

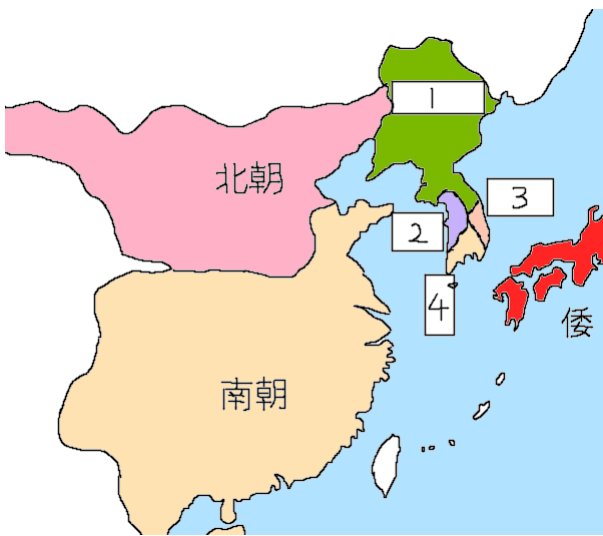
- ・小さな国が登場、周辺のむらをまとめて国ができる。
- ・倭の(14 )の王は、1世紀前半中国の漢に使いを送り、(15 )をもらう。
- ・(16 )：30あまりの国を従え、女王(17 )がうらないで政治を行う。
- ・17は中国の(18 )に使いを送った。中国の周辺国が中国の皇帝にみつぎものを持っていく代わりに、皇帝にその王の地位を認めてもらうことを**朝貢**という。  
この時代の日本の様子は、歴史書『三国志』の一部の(19 )に書かれている。

5, 古墳時代(3世紀後半～7世紀ごろ)

- ・古墳：王や豪族(地方などの支配者)の巨大な墓。四角い形と円形をあわせた(20 )が近畿地方をはじめ全国にある。古墳の頂上と周囲に(21 )という素焼きの土製のものを並べる。
- ・埼玉県の稲荷山古墳などには(22 )と文字がほられた鉄剣がおさめられていた。
- ・ヤマト政権：(23 )をはじめ近畿地方の豪族を中心とする勢力。中央の豪族は軍事や神事で23を支え、地方は地方の豪族が支配。
- ・(24 )：大陸から日本に、はた織り、漢字、仏教などを伝えた。仏教は6世紀(25 )から日本に経典や仏像とともに伝わった。

土偶(どぐう)、埴輪(はにわ)、縄文土器、弥生土器、ワカタケル大王、大王(おおきみ)、高床倉庫、たて穴住居、青銅器、卑弥呼(ひみこ)、奴国(なこく)、前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)、魏(ぎ)、渡来人(とらいじん)、貝塚(かいづか)、鉄器、石包丁、邪馬台国(やまたいこく)、百濟(くだら)、吉野ケ里遺跡、岩宿遺跡、三内丸山遺跡、金印、稲作、

\*5 世紀ごろ（古墳時代）の地図に入る国の名前を答えましょう。



- 1 (            )            2 (            )  
 3 (            )            4 (            )

新羅（しらぎ）、加耶（かや）、  
 高句麗（こうくり）、百濟（くだら）

基本問題（レベル3）

1、次のカッコ内に当てはまる語句を入れてください。

時代	年代	できごと	中国
㊦ 時代	約1万年前	最後の氷期が終わり、日本列島ができる 狩り・採集中心の生活 (1            ) 土器や磨製石器が使われる	
	紀元前7～6世紀	大陸から九州北部に(2            )が伝わり、石包丁などの道具が使われる	
㊧ 時代	紀元前後	倭が100余りの国に分かれる	秦(しん)
	57年	倭の奴国の王が漢に使いを送り、(4            )を授けられる 倭に内乱が起こる	漢(かん)
	239年	女王の(5            )が魏に使いを送る	三国
㊨ 時代	4世紀	朝鮮半島で百濟と新羅が力をつける (7            )政権が勢力を伸ばす	南北朝
	414年	高句麗の好太王碑ができる	
	6世紀	(8            )から仏教が伝わる	

確認問題

- ① 群馬県にある旧石器時代を代表する遺跡を何というか。
- ② 表面に縄目の文様がついた土器を何というか。
- ③ 地面を掘り下げ柱を立て、草や木の枝で屋根をふいた住居を何というか。
- ④ 青森県にある縄文時代を代表する遺跡を何というか。
- ⑤ 弥生時代の始まりについて、九州北部から広まったある作物を作る営みを何というか。
- ⑥ 5で収穫した作物を蓄えるためにつくられた倉庫を何というか。
- ⑦ 5のころから使われた、うすくてかたい土器を何というか。
- ⑧ 佐賀県にある弥生時代を代表する遺跡を何というか。
- ⑨ 3世紀の日本で、地域的なまとまりを作り、女王が治めた国を何というか。
- ⑩ 3世紀末から6世紀にかけて作られた、地域の支配者（豪族）の墓のうち、特に四角形と円形を重ねた形の墳墓を何というか。
- ⑪ 10のまわりに円筒形のを、頂上に人間・動物などの形をした焼き物を置いた。この焼き物をなにというか。
- ⑫ 10が作られたころ、近畿地方から日本全国に拡大した連合政権を何というか。
- ⑬ 埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣にある、12の王のことを何というか。
- ⑭ 10が作られたころ、中国や朝鮮半島から日本に移り住み、漢字や仏教を伝えた人々を何というか。
- ⑮ 5世紀ごろ、12と交流があった朝鮮半島の国は、加耶地方とどこか。
- ⑯ 5世紀ごろ、13が朝鮮半島での優位な地位を認めてもらおうと使いを送ったのは、中国の北朝と南朝のどちらか。
- ⑰ 6世紀、日本に仏教を伝えた国はどこか。